

令和5年度 差別をなくし人権を尊ぶ彦根市青年集会 総括

令和6年(2024年)2月25日(日)、ひこね市文化プラザ メッセホールにて、「差別をなくし人権を尊ぶ青年集会」を開催しました。

この集会は、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、人権が尊ばれる明るい地域社会を築くために、青年が一堂に会し、差別の現実から深く学び、自分の中に潜んでいる差別性に気づくとともに、人の痛みや喜びを共有し合える人間関係をつくることを目的に開催しているもので、今年で33回目を迎えました。

今年の集会のテーマは「気づき」。当日は学校関係者を中心に83名の参加がありました。

はじめに実行委員から「今まで当たり前で疑問に感じなかったことが、ふとした出来事がきっかけでハッと気付いた経験」、「自分の差別心や偏見に気付いた経験」などの話題が提供されました。その後、同じように気づいた経験の有無やその内容、「気づいた時、どのような行動を取るか?」、「気づいていても言える相手と言えない相手がいるのはなぜなのか?その線引きはどこなのか?」ということについてグループ討議を行いました。

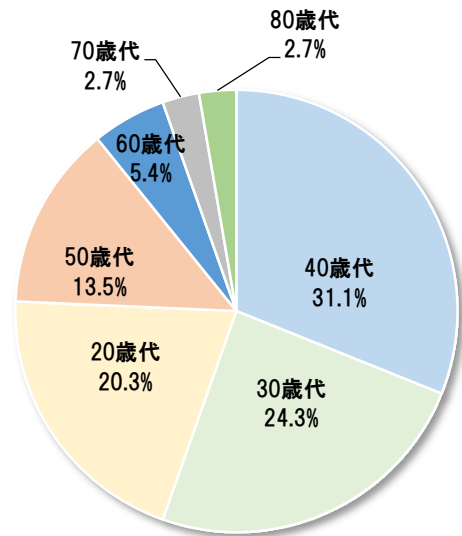
参加者の方々からいただいたアンケートの結果は、次のとおりです。

(アンケート回収率 74/83人=89.2%)

1. あなたの年代を教えてください

	人数(人)	割合(%)
19歳以下	0	0.0
20歳代	15	20.3
30歳代	18	24.3
40歳代	23	31.1
50歳代	10	13.5
60歳代	4	5.4
70歳代	2	2.7
80歳以上	2	2.7
無回答	0	0.0
合計	74	100.0

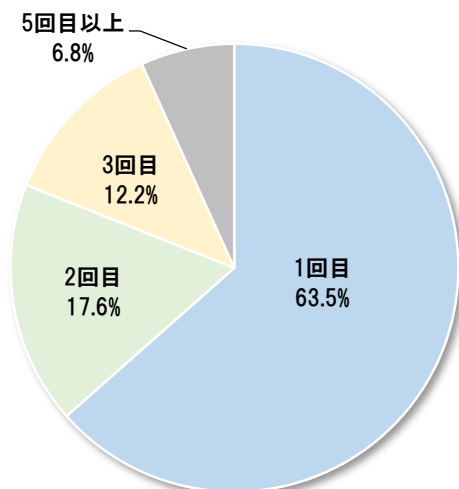
あなたの年代を教えてください



2. 青年集会への参加は何回目ですか?

	人数(人)	割合(%)
1回目	47	63.5
2回目	13	17.6
3回目	9	12.2
4回目	0	0.0
5回目以上	5	6.8
無回答	0	0.0
合計	74	100.0

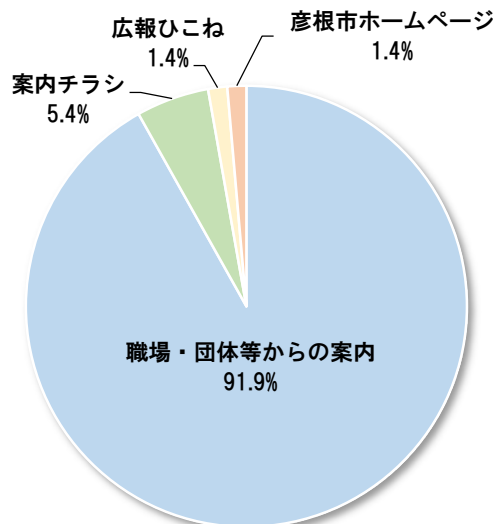
青年集会への参加は何回目ですか?



3. 青年集会の開催をどのように知りましたか？

	人数(人)	割合(%)
案内チラシ	3	4.1
広報ひこね	1	1.4
彦根市ホームページ	1	1.4
職場・団体等からの案内	69	93.2
その他	0	0.0
無回答	0	0.0
合計	74	100.0

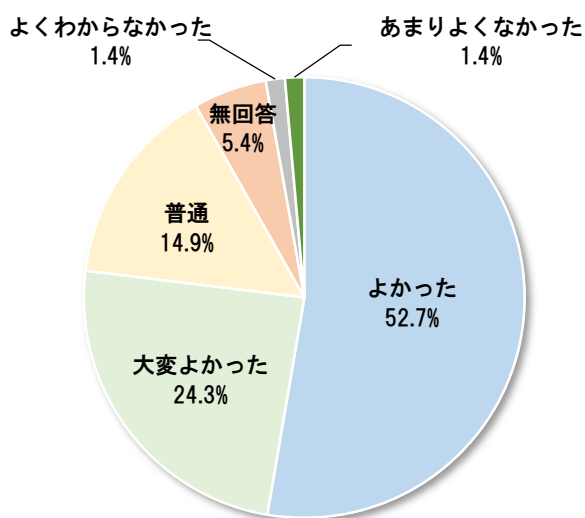
青年集会の開催をどのように知りましたか？



4. 本日の集会の内容はいかがでしたか？

	人数(人)	割合(%)
大変よかった	18	24.3
よかった	39	52.7
普通	11	14.9
あまりよくなかった	1	1.4
よくなかった	0	0.0
よくわからなかった	1	1.4
無回答	4	5.4
合計	74	100.0

本日の集会の内容はいかがでしたか？



5. 参加者からの感想（一部抜粋）

- 人権について、差別について又はいじめについて考える時、「気づき」があるかどうかとても大切なことだと改めて考えさせられました。そこに差別があるのか又は自分や周りの人の一言に相手を傷つける言葉はなかったか、相手もしくは自分が嫌だと感じる、感じた言葉がそこになかったのか「気づく」ことから始まるものがたくさんあると感じました。
- 自分の印象で相手に対して”決めつけ”をしてしまうことがよくあることを意識の中にとめておくことで、まず考えてから行動できるようになりたいと思いました。身のまわりでの出来事から”気づく”ことが大切であり、それが明日へつながるということを改めて感じました。
- 差別という事から様々な思い込み、偏見がある事に気がつきました。問題を自分がどうとらえているか、またその問題からどうやって解決するかの判断ができていない事に気がつきました。
- 「言えないよね」で終わってはいだめだと再確認しました。自分で言えるように、言える関係性が大切だと学びました。
- テーマにある”気づく”ということをたくさん考える機会となり、多くの方が気づいても伝えられない現状であることを知った。お互いに言い合える関係性の大切さを学んだが、それがとても難しいことにも気づいた。スモールステップを大切に、少しずつ関係性をつくり、話し合える環境になればいいと感じた。
- 様々な事例を通して、いろいろな考え方や思いがあるのだと学びました。その時々々の立場や関係性によって、言える事、言ってもらえる事、様々だと思います。少しでも人権問題の解決につながるよう日頃から意識していきたいと思っています。
- 普段、過ごしている中で、自分が意識せずに相手を傷つけてしまったり、自分の思いを押しつけてしまっていること、無意識に差別してしまっていることがあるかもしれないと気付きました。自分自身、気付ける人でありたいし、自分のまずは周りの人と話す・大切にすることを意識して、明日から過ごしていきたいと思いました。